



わらしべの里通信

「お仕事楽しいよ」 請け負い作業に取り組む仲間たち



電動ドリルで検査中！ かっこいいね！【2021年4月頃撮影】



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】
どこかの工場のような建物で、ネジを袋に入れる作業をする姿。機械を使ってネジを締める作業をする姿。わらしべの家第2作業所で働く仲間たちです。感想を聞くとマスク越しに「お仕事楽しいよ」と教えてくれました。わらしべの家は現在、栃木市内、東京、関西地方に拠点を置く企業様より部品の組み立ての仕事を頂いて、20名前後の仲間が工業製品の組み立て・検査・梱包などの作業を行っています。請け負い事業の歴史は、わらしべの家が創設された昭和55年までさかのぼります。古着の選別作業、お線香の箱入れ、ボールペン組み立てなど時代とともに変化してきました。

あっという間に過ぎる作業時間



向かい合ってもビニールシートが真ん中に吊り下げたので安心です！

【2021年4月頃撮影】

生産活動に集中していると、あっという間にお昼の給食の時間になります。昼休みにおしゃべりやタブレットなどでリフレッシュ。午後の生産活動の時間も集中しているとあっという間に夕方です。仲間たちは、その時間帯をかがえのない時間ととらえています。その時間の中で、部品がどんな製品に使われるのか思いを馳せながら、仲間・支援員がともに協力し合い、正確に仕上げるよう心掛けています。

金坂施設長は「請け負い事業では、数量の多い工業製品を取り扱うことが多く、組み立てや検査など同じ作業の繰り返し得意な方に向いています。初めての作業や工程では、職員が丁寧に説明し「一緒にやってみる」「職員がそばで確認しながら一人でやってみる」「一人でゆっくりやってみる」という、スモールステップを繰り返すことで、安心して作業に取り組んでいただけました」と話します。

第2作業所の全員で一丸となつて取り組んだ製品をお客様へ納品をするたびに「わらしべさんに頼んでよかったです」と喜ばれているようです。





～わらりんの仲間紹介～



2019年12月撮影 宇都宮市内の餃子専門店にて

みなさん、こんにちは！社会福祉法人わらしべの里に住み着いている妖精（妖怪？）のわらりんです。このコーナーでは、わらしべの里に通う仲間たちひとりひとりにスポットを当て、インタビュをするコーナーです。不定期ですがどんどん紹介します。

今回は、第7号となるこの方です。

齊藤 隆裕（29）
わらしべ歴11年目のベテラン
所 属：請け負い作業
作業内容：スポンジ型抜き作業、ハーネス作業、ボールペン組み立て作業など
「僕、齊藤隆裕です」

栃木特別支援学校卒業後、わらしべの家に通い始め、今年で11年目。齊藤さんは朝食を食べ、停留所まで歩き送迎車を利用して通所。施設では、だれとでも隔たりなくふれあいノリノリです。午前9時、お仕事開始。表情が職人に変わりまです。生産活動の傍ら、スポンジの切れ端がたまったことを見計らい、作業室の外

へ運び出します。日々、様々な請け負い作業をこなす第2作業所において、存在が大きいですね。

「ポケモンが大好きです」
生産活動を終え、自宅に帰宅すると任天堂 Switchで「ポケットモンスター」シリーズのゲームを攻略することに夢中。ですが、お風呂掃除をお母様に頼まれると率先して行なっているそうです。お父様と散髪に行った翌日には、「床屋に行ってきたよ」と報告します。男性職員さんも、自身の幼少期を懐かしむように刈りたての頭を触って、絆を深めています。

仲間たちのリーダー
だれとでも隔たりなくふれあう齊藤さんは仲間の役員選挙に出ると、必ず10票は獲得します。現在は仲間の副会長ですが、2期4年仲間の会長を務められたことも。齊藤さんを14歳の時から知っている小谷さんは「齊藤くん、大人になった」と話します。

わらりんから
わらりんが、齊藤さんを影から応援し続け、10年。これからも体調と自動車に気をつけて、わらしべに通ってくださいね。そして、これからもみんなのリーダーとして取り組む姿勢を見せてください。…もっとお話をお聞きたいのですが、紙面に限りがありますので、このあたりで終わりにします。機会がありましたら、また続きを書きたいと思います。それでは、みなさん次号までさようなら。

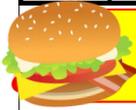


2017年11月撮影



2021年1月撮影

ら。インタビュアー・わらしべの妖精わらりんでした。



土曜開所日！作業&ランチは…ケンタッキー！



一生懸命食べています

【今回の記事は、パソコン工房所属の仲間・ペンネーム：PORRーがお伝えします】この日は、作業&ランチはケンタッキーのハンバーガーセットを食べました。心を前向きに持って

この数日は、梅雨空が続いていましたが、今日はピカピカの太陽が顔を見せてくれました。国内や海外では、様々なことが起き、日本各地では土石流や洪水の被害で大変な状況が続いています。テレビ画面に映し出される映像を見るたびに、悲しい気持ちになることが多いようです。それぞれの仲間たちの心に想いがあります。悲しいことはあまり口に出さず、前向きに生産活動ができる喜びを噛みしめて、作業に取り組んでいるようでした。

作業メインの日でしたが、お楽しみはこれから…

生産活動の後は、いよいよランチの時間です！ケンタッキーの店員さんがデリバリーで配達してくれたので、温かいハ

ンバーガーを食べることが出来ました！ポテトと飲み物もセットになっています。今は、大勢での外食を控えなければなりません。が、わらしべの家に配達してもらえれば、どこにも行かずにおいしいものをみんなで食べるができます。食べている間は同じ方向を向いて座り、会話をせずに黙って食べます。3つの「密」を避けるため、食べ終わった順から自由解散となりました。次回もおいしいものが食べたいな！

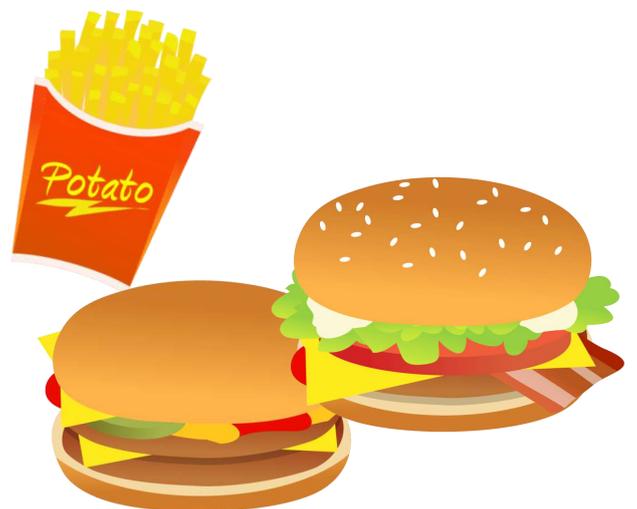
【2021年7月10日実施】



みんなで食べるとおいしいね！



楽しく食べる仲間たち。ピース！





～七夕の願いごと～



短冊にはなんて書いたのかな？

【今回の記事は、パソコン工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】七夕の日は、1年に1度だけ「おりひめ（織姫）」と「ひこぼし（牽牛）」が天の川の上でデートをする日といわれ、この日にちなんで願い事を書いた短冊を笹の葉につるし、おりひめ星に上達を願うとされています。コロナ渦ですが、わらしべの家でも「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避け、令和3年7月7日に昼食前のわずかな時間を利用して「七夕の会」を開きました。ジュースとお菓子が配られ、仲間たちは給食を食べ始めました。
今の幸せや、コロナ終息後の将来への

希望を反映した願いごとも
みんなの願いは、クリスマス会キャンセルサービスの時のように職員が代読しました。「ひとつひとつお仕事の区切りを付けながら自分なりにがんばりたい。体調を管理しながら欠席・早退がないように行動していきたい。仲間のみんなや職員さんたちとコミュニケーションをとりながら楽しく生活を送っていききたい」、「さをり織りがもっと上手になりますように」、「今の幸せが続きますように」、「わらしべに休まず通いたいです」、「CDがたくさん欲しいです。お願いします」、「コロナが早く落ち着いてみんなと遊べるようになりますように。」



短冊と一緒に、ハイチース

9月～10月の行事

※第3金曜日に、給食の前に、誕生会を仲間の会主催で行います。
※月の最終週の水曜日は、嘱託医問診です。

27日		15日		23日		16日		29日		17日		23日		13日	
嘱託医問診		誕生会(2人)		(作業とイベント)		土曜開所		嘱託医問診		誕生会(1人)		(作業とイベント)		健康診断	
10月の行事予定		10月の行事予定		10月の行事予定		10月の行事予定		10月の行事予定		10月の行事予定		10月の行事予定		10月の行事予定	

これからの行事予定

23日		5日		26日		21日		29日		22日		15日		4日		24日		19日		3日	
(作業とイベント)		土曜開所		節分豆まき		2月の行事予定		嘱託医問診		誕生会(4人)		誕生会(2人)		クリスマス会		嘱託医問診		誕生会(2人)		(作業とイベント)	
11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定		11月の行事予定	

今後の行事予定については、新型コロナウイルスの感染状況 社会の動きを見て判断いたします。

早くいつもの生活に戻れるようになりますように」と新型コロナウイルス終息後の将来への希望を反映した願いごと多数見受けられました。おりひめさんとひこぼしさん、願い事を聞いてくれましたか？叶いますように・・・。
【2021年7月7日実施】



7月3日土曜開所日は…おいしそうなお好み焼き？！



おいしそうなお好み焼きに見えますが、作りものです

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：PORRがお伝えします】この日は、作業&お好み焼きゲーム・千本引きくじのレクリエーションでした。今回は作業の合間に10時から2〜3人ずつで行いました。僕は、何日も前からとても楽しみに待っていました。

お好み焼きゲーム
テーブルの上においしそうなお好み焼きが20枚ほど並んでいます。このお好み焼きは段ボールに写真が貼り付けられた作り物ですが、とてもおいしそうでした。今にもソースのいい香りとジューシーと焼く音が聞こえてくるようでした。ルールは、30秒間でこのお好み焼き



上手にひっくり返せていますね

を何枚ひっくり返せるかというゲームです。コテを両手に持つところまでは同じですが、クルッと返せる仲間、なかなか返せない仲間、コツをつかめたのか、ラストスパートで最後に何枚も返した仲間など三者三様でした。

千本引きくじ
お好み焼きを返した後は、カードを引きました。テーブルの上に並んでいるカードを一枚引くと裏に番号が書いてありました。その番号は、次に用意されている千本くじを引く順番を決めるための番号でした。

お昼ごはんは、注文しておいたお弁当を食べました。その後、先程引いた番



たくさん返せましたね。よっ名人！

号順に千本くじを引きました。千本くじには、お菓子（コアラのマーチ、じゃがりこ、とんがりコーン、プリッツなど）が付いています。お菓子が大好きな仲間が多いので、箱を見てニッコリしながら、きちんと順番を守って引きました。お菓子を大事に持ち、みんな家路につきました。

【2021年7月3日実施】





～わらりんの仲間紹介～



2019年8月頃撮影

みなさん、こんにちは！社会福祉法人わらしべの里に住み着いている妖精（妖怪？）のわらりんです。このコーナーでは、わらしべの里に通う仲間たちひとりひとりにスポットを当て、インタビューをするコーナーです。不定期ですがどんどん紹介しまーす。

今回は、第8号となるこの方です。

大塚 さやか（28）

わらしべ歴10年目のベテラン
所 属：自主製品事業 さをり織り
作業内容：さをり織り、糸整理、出店

時の呼び込みなど

「私、大塚さやかです」

栃木特別支援学校卒業後、わらしべの家に通い始め、今年で10年目。大塚さんは朝食を食べ、送迎車を利用して通所。午前9時、お仕事開始。糸整理をするところから、大塚さんの朝一番のお仕事が始まります。「織り終わりました。反物を外します」と仲間が支援員さんに報告すると大塚さんの出番です。さをり織りの反物を作るうえで最も重要な経糸の長さや本数を決める作業から、織機に経糸を巻き取っていく作業まで、織り終わった仲間のサポートをして声をかけています。わらしべの家さをり織り事業において、存在が大きいですね。

「イケメンが大好きです」

日ごろから、仲間のサポートを自分の仕事のひとつとされている大塚さん。もう一つの顔は、イケメンさんに心奪われる乙女です。過去に出かけた土曜開所日グループ外出時には、必ず書店コーナーを通るよう要望され、アイドル雑誌を見ては「この人、イケメン。本買って帰る。夢で逢えたら・・・」と言われて帰られたことが何度もありましたね。仲間も「ほっこり」しているようです。

仲間の会役員の新星

笑顔が素敵で仲間に慕われている大塚さん。令和2年度仲間の会役員選挙に出られ、役員に初選出されました。「仲間の会役員として、存分に力を発揮してく

ださいね！」とわらりんは期待しています。

わらりんから

わらりんが、大塚さんを影から応援し続け、9年。これからも体調に気をつけて、わらしべに通ってくださいね。：もっとお話を聞きたいのですが、紙面に限りがありますので、このあたりで終わりにします。機会がありましたら、また続きを書きたいと思います。それでは、みなさん次号までさようなら。インタビュー・わらしべの妖精わらりんでした。



楽しかったクリスマス会。2019年12月撮影

みんなとじゃがいもの収穫をしました



大きなじゃがいもがたくさん！

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム・混むがお伝えします】平成15年から開始されたわらしべの家の農作業。18年目を迎えた令和3年も夏にじゃがいもが収穫できるように3月に種芋を植えました。
カエルも喜ぶじゃがいも掘り
定植から3か月経ったある日、家庭菜園を趣味のひとつとしている支援員さん

が「梅雨入り前にそろそろ収穫しようかな」と目安を立てました。そして6月11日、大宮町堀の内地区を回る朝の清掃活動をした後、希望した仲間全員で額に湧き出る大粒の汗をぬぐいながら、土を掘りました。
作業中、カエルもびよんびよんとやってきて、仲間のひとりと遊ぶ一幕がありました。



みなさん、がんばっていますね！

ました。作業の結果、まるまると実ったじゃがいもがたくさん収穫できました。みんなが掘ったじゃがいもは、室内で乾かされたあと、1袋300円で販売され、多くの仲間たちの食卓に肉じゃが、カレーライス、素揚げのフライドポテトとなっており、家庭の中で明るい話題となりました。



こんなにたくさん収穫できました！やったー！

【2021年6月11日実施】



少人数での昼食会が開かれました



おいしそうですね！

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：PORIがお伝えします】
 昨年に引き続き、2回目の昼食会です。仲間たちから大好評で、また行きたい！という声がたくさんあり、その声を受けての今回の実施となりましたようです。
 昨年からは、新型コロナウイルスの感染防止のため、外出・日帰り旅行・イベントなどには行けなくなりました。そのため、少しでも皆と楽しめる機会があればと、個室・少人数での昼食会となりましたようです。

ちょっと豪華な昼食

食事会に参加を希望した仲間たちは、6月1日～8日の5日間、少人数のグ



感染対策万全です！

ループに分かれ、職員さんとお昼の時間帯に“肉のふきあげ”に行きました。みんな、ちょっと豪華な昼食をとっても楽しみにしていました。

お店に着くと、入口にあるアルコール消毒で手をきれいにし、用意された個室へ案内してもらいました。
お肉・ハンバーグ・お刺身…

おいしそう。いただきます！

事前に希望をとった前日光和牛ハンバーグランチまたはスクラム(生姜焼き・お刺身ランチが出てくるのを待ち、お肉のジューシーさとボリューム感とシエフが腕を振るってくださいました味付けと盛り



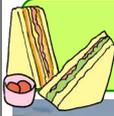
とてもおいしかったです！

付けにニコニコな笑顔を浮かべ、静かにいただきました。
また、みんなで食べに行きたい！
 お腹が一杯になり、とても満足です。「おいしかった」「もっと食べた」「お肉が柔らかかった」と感想が聞こえてきます。午後は、いつもの作業が



待っててくださいます。普段の生活の中にちょっとした豪華なことや贅沢なことがあると、とても嬉しいです。また、“みんなとちょっと豪華な昼食”を食べに行きたいな〜とお話をしながら、送迎車に揺られわらしべの家に戻りました。

【2021年
6月8日撮影】



初夏を感じつつ、ランチを買いに



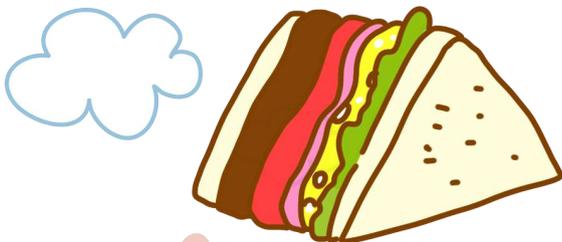
コエド市場にて、とち介くんと一緒に

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】5月29日。5月の最終土曜に行なわれた土曜開所日は爽やかな青空が広がりました。通所してきた28名の仲間は、わらしべの家がある大宮町堀の内地区を回って清掃活動をした後、平日と同じように真剣に生産活動をはじめました。生産活動後の楽しみとして午前10時45分から新型コロナコ

ランチをテイクアウト 笑顔咲く
ドライブには5月15日にも行きましたがお昼の買い出しとなると平成30年の冬、体育館で運動した帰りに寄った買い出しまでさかのぼります。正午前、わらしべの里の食堂にハンバーガーショップ、ベーカリー、コンビニなどから購入したテイクアウトの品々が並んでおり、普段では見られない光景でした。仲間たちはマスク越しに「コエド市場に行ってくださいました」、「スーパーマーケットに行ってきました」、「天平の丘公園に行ってきました」などと話していました。そして同じ方向を向いて座り、自分で購入したものをおいしく食べました。感染防止に、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避けるため、食べ終わった頃から自由解散となりました。【2021年5月29日撮影】



フライドポテトおいしいですね



ハンバーグランチいただきま〜す



土曜開所日・ドライブを楽しむ



はいっチーズ！

【2021年5月15日撮影】

り、3密に気をつけながら、お弁当をおいしく頂きました。

配なので、主に窓からの景色を眺めて楽しむというドライブでした。以前は、施設での外出で買物や食事を楽しめましたが、今は出来ません。早く終息してもらいたいです。

めを楽しんで帰りました。
今は、新型コロナウイルスの感染が心配なので、主に窓からの景色を眺めて楽しむというドライブでした。以前は、施設での外出で買物や食事を楽しめましたが、今は出来ません。早く終息してもらいたいです。

【今回の記事は、パソコン房所属の仲間・ペンネーム：PORRがお伝えします】
令和3年5月15日土曜日。この日は、作業&ドライブでした。今回も作業を早めに切り上げ、10時15分頃に出発しました。僕は、何日も前からとても楽しみに待っていました。
新緑のドライブ
送迎バス3台で、市内の各方面へ行きました。



きれいなお花畑ですね



マスク越しに女子会を楽しんでいます



～わらりんの仲間紹介～



2019年3月頃撮影

みなさん、こんにちは！社会福祉法人わらしべの里に住み着いている妖精（妖怪？）のわらりんです。このコーナーでは、わらしべの里に通う仲間たちひとりひとりにスポットを当て、インタビューをするコーナーです。不定期ですがどんどん紹介します。

今回は、第9号となるこの方です。

福田 孝子（42）

わらしべ歴24年目のベテラン

所 属：請け負い作業
作業内容：スポンジ型抜き作業、ハー

ネス作業、ボールペン組み立て作業など
「私は、福田孝子です」

栃木養護学校卒業後、わらしべの家に通い始め、今年で24年目。福田さんは朝食を食べ、自転車で元気に通所。午前9時、お仕事開始。表情が職人に変わります。福田さんはボールペン組み立て作業に長く携わり、2012年から現在の作業を担当しています。作業中は一言もしゃべらずどんな作業でも難なくこなします。日々、様々な請け負い作業をこなす第2作業所において、存在が大きいですね。

「孝子で出ています」

昼休みのカラオケタイムと誕生会での十八番披露は、現在取りやめとなっておりますが、過去23年間において小林旭「昔の名前で出ています」を情感たっぷり主人公になりきり、歌っていました。歌後は、「歌ったよ」とみんなに報告していました。福田さんは、わらしべの家に通所しはじめたころから、仲間が困っているのとサツと助けます。特に三木さんとのやり取りは、「あ・うん」の呼吸で息がぴったしです。

福田さんの深い愛

気が利く福田さんの仲間に対する愛は、深いです。2月、ご家族の方が板チョコを「みなさんで」と届けてくれます。仲間は福田さんにお礼を言い、大切にそうに持ち帰ります。きつと大切に食べていることでしょう。わらりんからも

「仲間のこと、いつも見守ってくれてありがとうございます」とお礼を言わせていただきます。

わらりんから

わらりんが福田さんを影から応援続け、23年。これからも体調と自動車に気をつけて、わらしべに通ってくださいね。そして、これからも作業を頑張り、仲間が困っているとサツと助けてください。：もっとお話をお聞きしたいのですが、紙面に限りがありますので、このあたりで終わりにします。機会がありましたら、また続きを書きたいと思えます。それでは、みなさん次号までさようなら。インタビュー・わらしべの妖精わらりんでした。



2018年4月3日撮影



五月晴れに誘われてやってきた仲間たち



間違い探しスタート



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】令和3年5月8日。5月になってはじめて行なわれた土曜開所日は爽やかな青空が広がった日。通所してきた28名の仲間は、わらしべの家がある大宮町堀の内地区を回って清掃活動をした後、平日と同じように真剣に生産活動をはじめました。この日も午前10時30分まで作業に取り組みがんばる姿が多くみられました。

間違い探しで、コミュニケーション活性化

午前10時45分から生産活動後の楽しみとして、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、第1作業所の仲間は食堂で、第2作業所の仲間は2階の作業室で間違い探しのプリントを解きました。左の絵が正解で、右の絵が左の絵



に比べて大きさ、向き、配置されているものが違います。今年度入った仲間はすぐに答えられ、8年先輩の仲間にアドバイスを送り、マスク越しの女子会のような雰囲気でした。一方で、絵の残像が脳にすり込まれ思い込みにつながり、微妙な違いをなかなか見つけるのに苦労した仲間も。支援員さんに「気付けて良かったね」と言われて笑顔になっていました。

午前11時30分から同じ方向を向いて座り、事前に注文したお弁当をおいしく食べました。感染防止に、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避けるため、食べ終わった順から自由解散となりました。

【2021年5月8日実施】



第2作業所も挑戦中



 **社会福祉法人わらしべの里**

『わらしべの里通信』第54号(通巻68号)
 発行元 社会福祉法人わらしべの里
 発行責任者 大橋 誠
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
 電話 0282-27-1627
 Fax 0282-27-1675
 E-mail warashibenosato@cc9.ne.jp (事務所)
<https://www.warashibenosato.com/>

わらしべの家

今年度、2回目のわらしべの里通信の発行となりました。この夏、東京オリンピック・パラリンピックが開催されましたね。日本代表の選手たちもたくさん参加し、メダルに届いた選手も届かなかった選手もその陰には汗と涙の努力があります。その大舞台だったと思います。お疲れ様でした。そして、感謝をありがとうございます。

東京パラリンピック出場の手のように、皆さんの運動神経は素晴らしいです。障がいを受け入れ、日々の生活をその歩幅で歩んでいってください。除草や工業製品の組立て・検品などの軽作業のほか、魅力のある製品等の作成・販売を行います。ご入用の際は是非お問い合わせください。(亮)